

転ばぬ先の杖をつくる

海内地域まちづくり計画 資料編

●地域住民アンケートの結果

1. アンケート調査の目的

アンケート調査は、海内・桑野住民における今後の地域づくりを進めるための指針となる新たな計画を策定するにあたり、今後しなければならない方向や重点施策など、地域住民の現状の意向や意識を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施したものである。

2. アンケート調査の方法

● 調査対象者

中学生以上の海内・桑野地域住民

● 調査期間

平成20年2月6日～平成20年2月28日

● 配布・回収の方法

- ・ 各戸に対象者人数分のアンケート用紙を配布
- ・ 配布： 地域づくり活動推進員により各戸（対象人数分）配布
- ・ 回収： 地域づくり活動推進員へ提出、もしくは回収

3. 回収状況

調査名	配布数	回収数	回収率
地域住民アンケート	220名	195名	88.6%

4. 設問構成

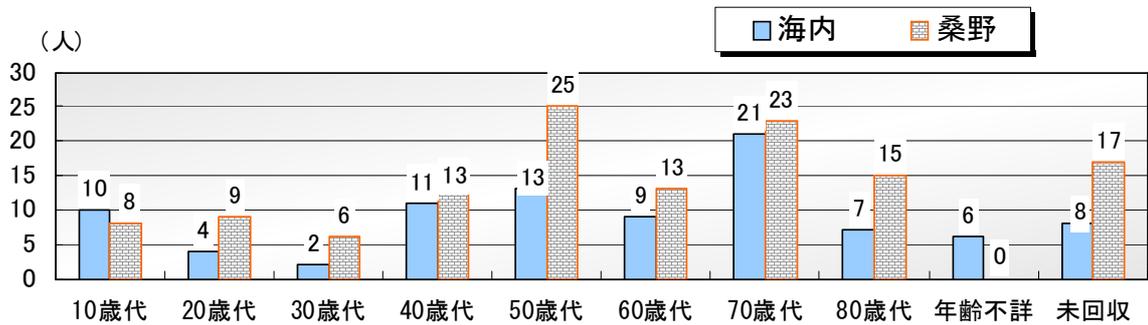
設問No.	設問項目	回答方式
設問1	性別	選択 単数
設問2	年齢	選択 単数
設問3	集落名	選択 単数
設問4	将来の居住希望	選択 単数
設問5	住み続けるために重要な項目	選択 複数可（3項目）
設問6	地域活動参加状況	選択 単数
設問7	現状満足度	選択 単数
設問8	不安事項	記述 ---
設問9	将来希望事項	選択 複数可（3項目）
設問10	期待する協議会活動	選択 複数可（2項目）
設問11	関わりたい協議会活動	選択 単数
設問12	海内地域が自慢できるもの	選択 複数可（3項目）
設問13	将来のためになすべき事項	記述 ---
設問14	その他意見・希望等	記述 ---

- 各項目については、回答なし又は複数回答における未満回答数もあり、集計にカウントされないため、必ずしも回収総数と合致しないものもあります。

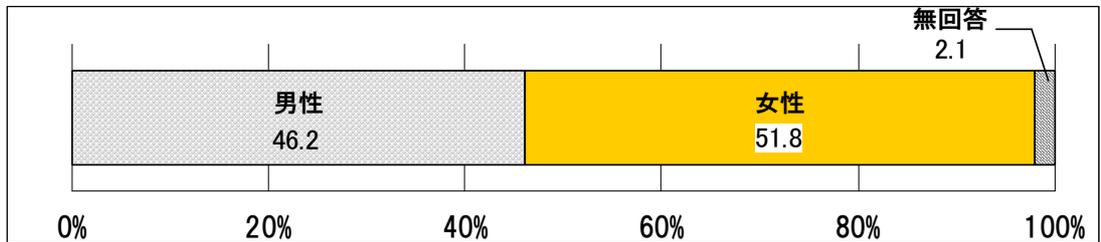
●地域住民アンケートの結果

5. アンケート調査結果

海内83名、桑野112名、未回収25名

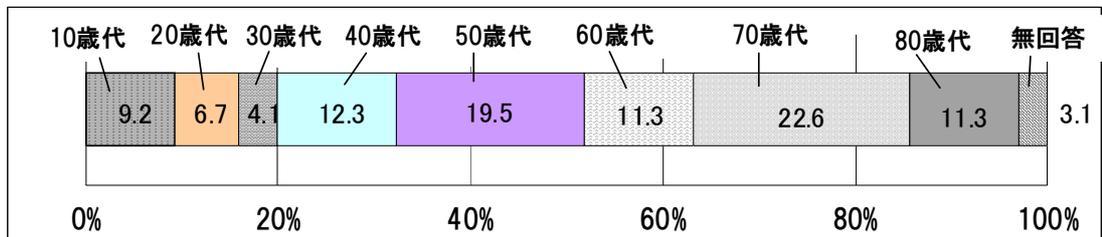


【設問 1】 性別



回答された方の人数は、男性90名・女性101名・性別無回答4名の結果です。

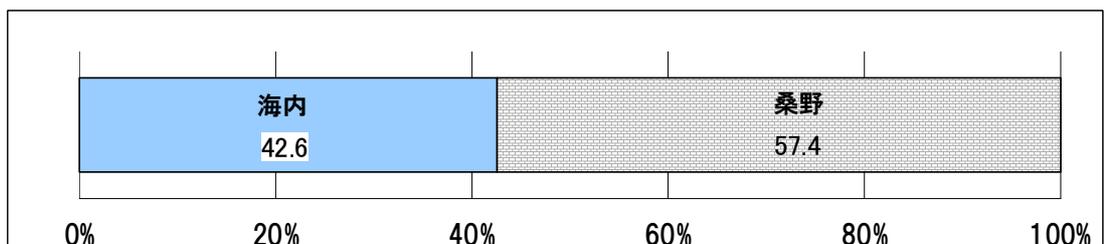
【設問 2】 年齢



年齢別に見ると、70歳代の方の回収件数が44名（22.6%）と多く、次いで50歳代の38名（19.5%）で、比較的に中高年の人口比率が高い理由も上げられています。

【設問 3】 集落名

(合計：195件)

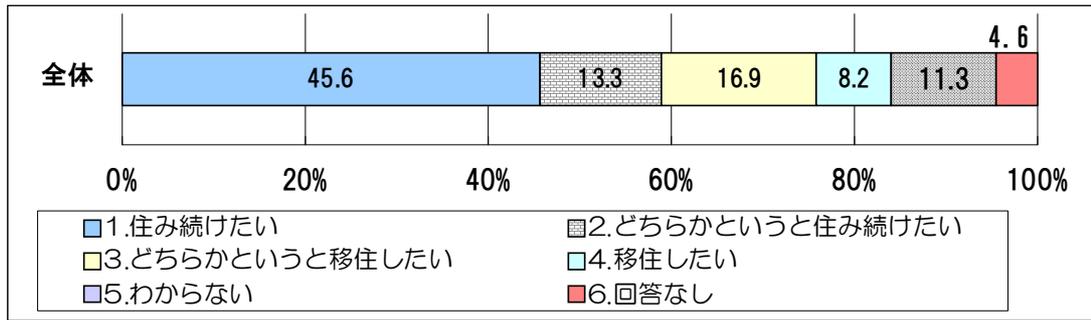


2集落での占める割合は上記グラフの通りであり、回収者数は海内集落83名、桑野112名の結果となっています。

●地域住民アンケートの結果

【設問4】 将来の居住希望

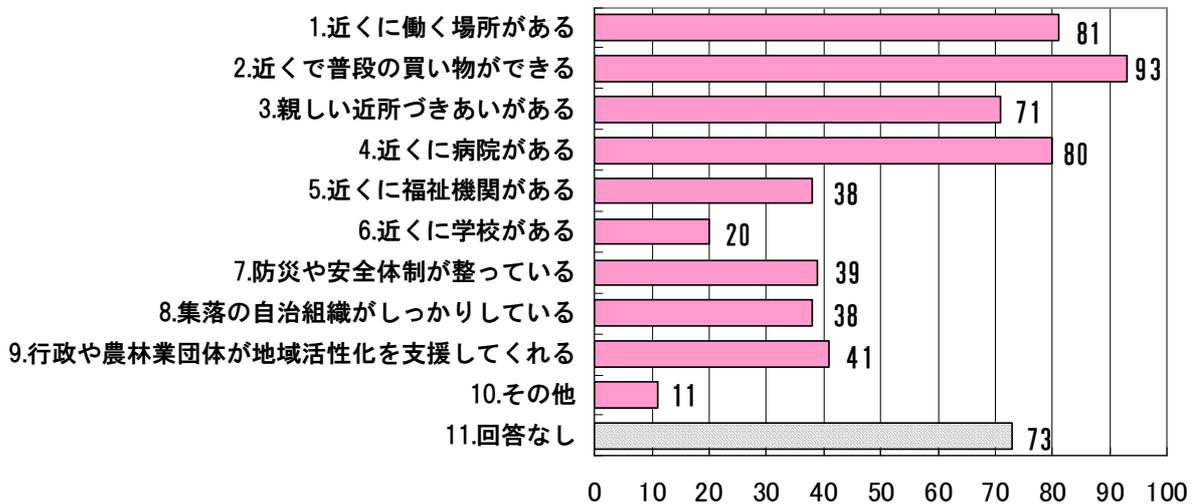
(合計：195件)



住み続けたいが58.9% (45.6%、13.3%)と全体の6割弱が将来も居住したい、の回答。又、移住したいが25.1% (16.9%、8.2%)とあり、4人に1人の結果となっています。

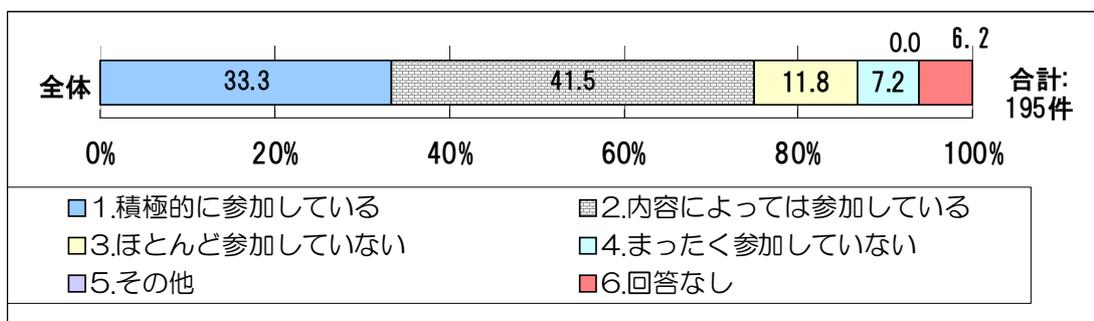
【設問5】 住み続けるために重要な項目 (複数回答可)

(合計：585件)



1人3項目までの複数回答で585件集計した結果、買い物・働く場所・病院が近くにあるといった理由が上位を占めている。その他の内容には、道路・交通関係が9件を占め、道路整備や交通機関の充実などが上げられています。

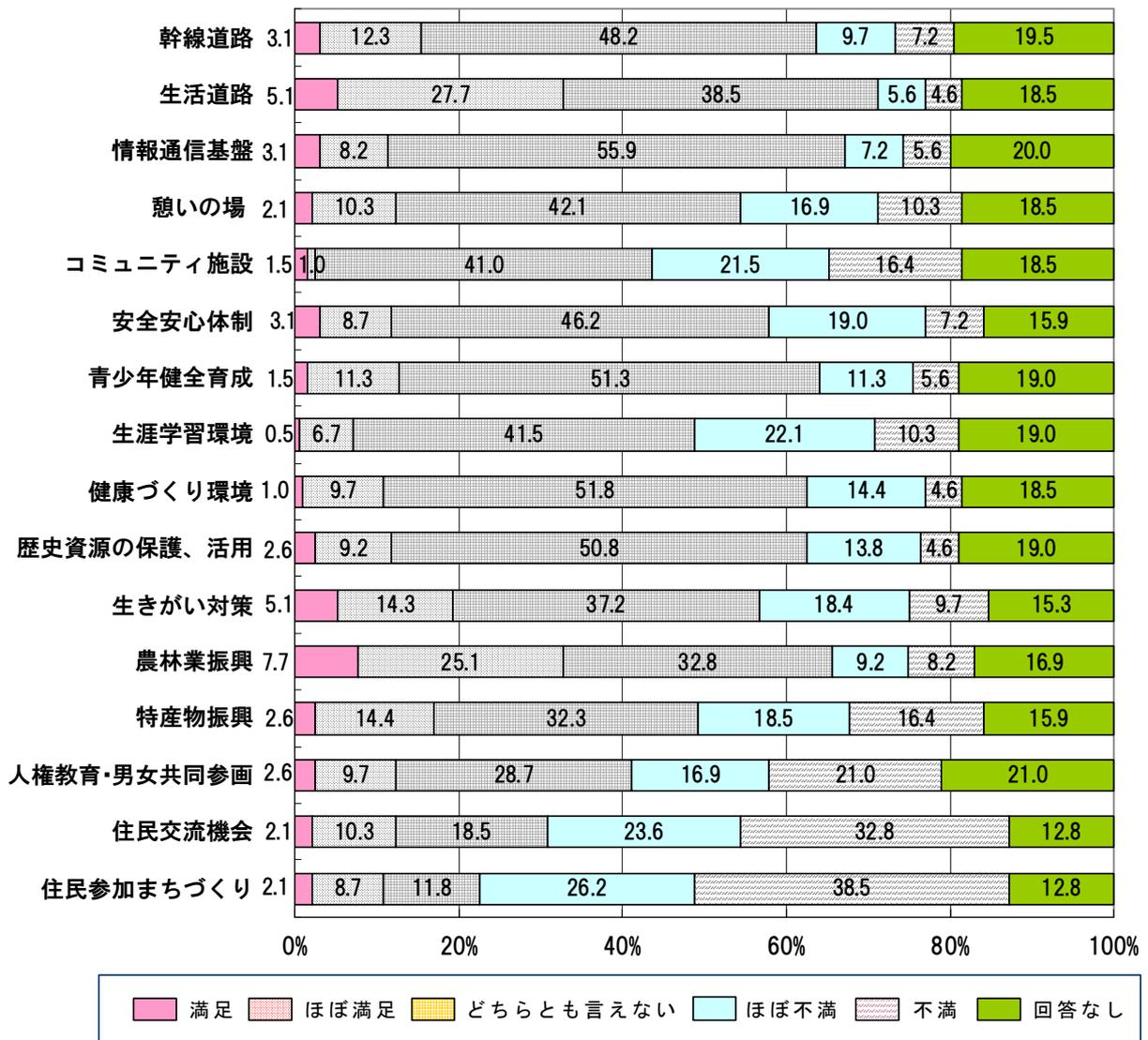
【設問6】 地域活動参加状況



回答者の74.8%の方が、地域主催の活動に参加して頂いておりますが、19.0%の方は参加されていない傾向である、といった結果が出ています。

●地域住民アンケートの結果

[設問 7] 現状満足度 (各項目 合計：195件)



◎満足度の算出方法

下表の通り、選択肢に点数を付け数値化することにより、平均を求めて満足度を表す。

選択肢	得点
満足	+10
ほぼ満足	+5
どちらとも言えない	0
やや不満	-5
不満	-10
回答なし	対象外

1. 幹線道路	-5.2 点
2. 生活道路	-4.3 "
3. 情報通信基盤	-2.8 "
4. 憩いの場	-1.9 "

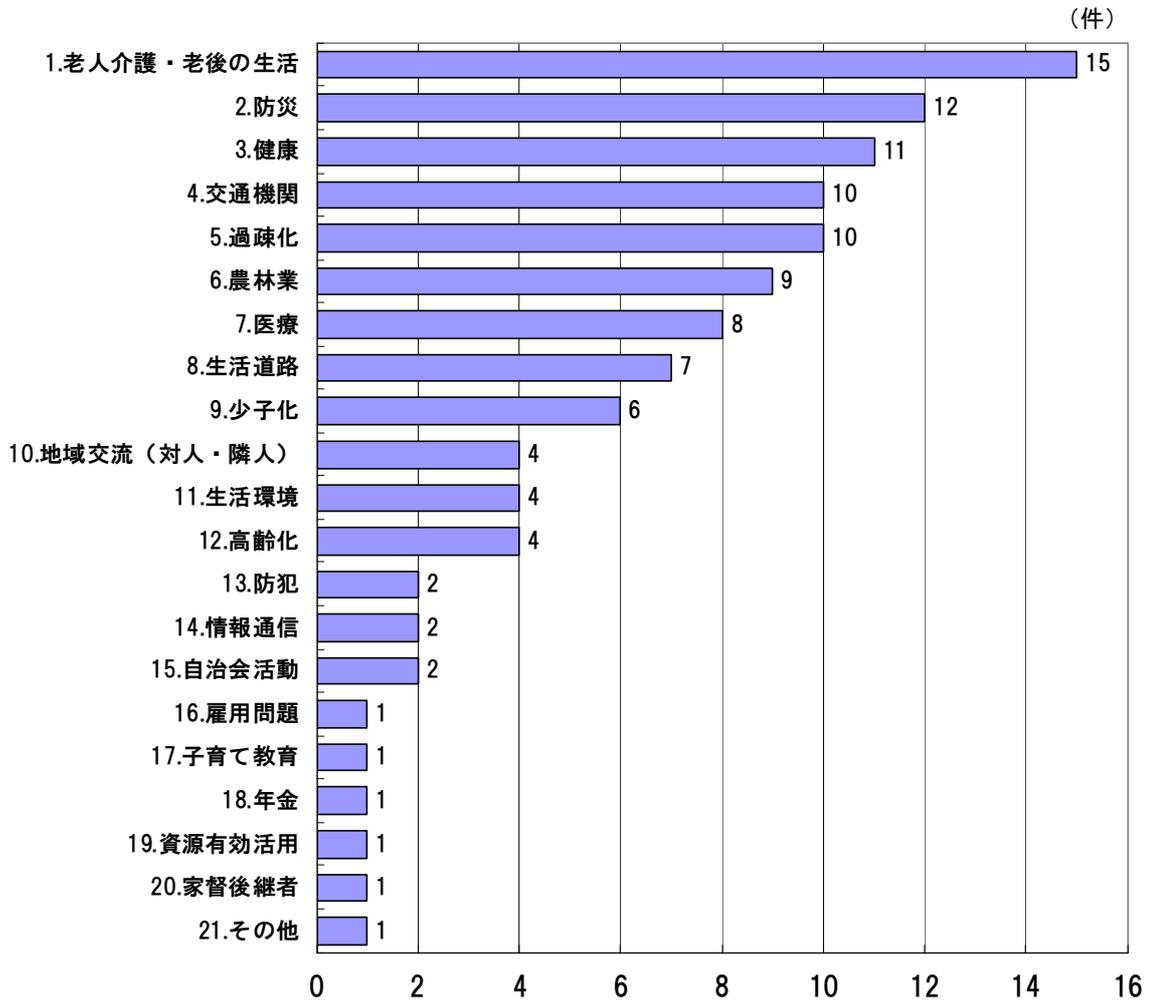
5. コミュニティ施設	0.9 点
6. 安全安心体制	-0.8 "
7. 青少年健全育成	-0.5 "
8. 生涯学習環境	-0.7 "
9. 健康づくり環境	-2.2 "
10. 歴史資源の保護・活用	-0.5 "
11. 生きがい対策	-1.1 "
12. 農林業振興	-3.1 "
13. 特産物振興	-1.4 "
14. 人権教育・男女共同参画	-0.3 "
15. 住民交流機会	1.4 "
16. 住民参加まちづくり	-0.4 "

〈計算式〉 { (10×[満足]件数) + (5×[ほぼ満足]件数) + (0×[どちらとも言えない]件数) + (-5×[やや不満]件数) + (-10×[不満]件数) } ÷ 各事項の合計件数

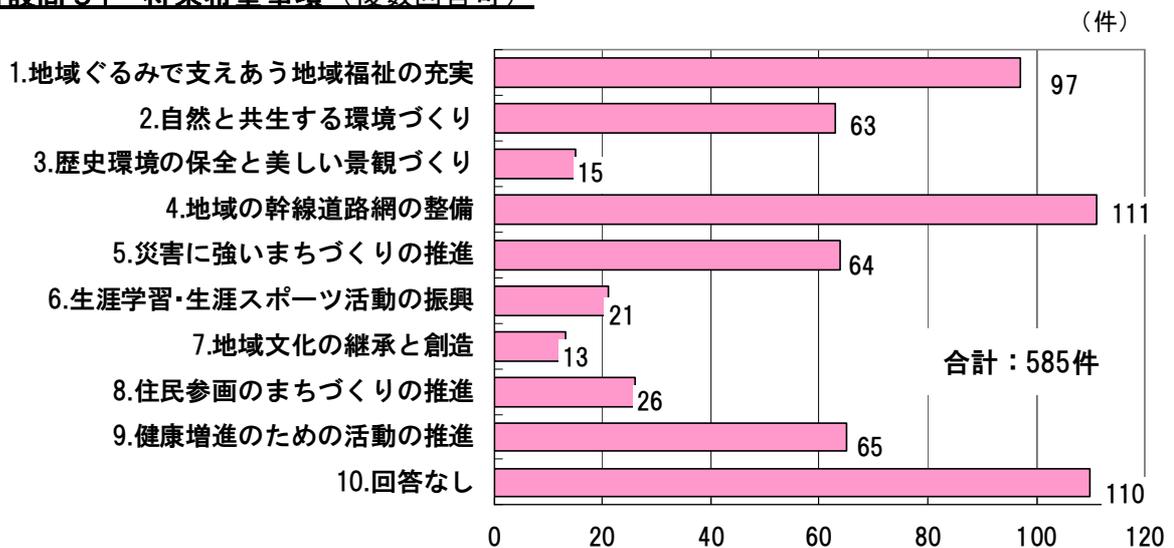
●地域住民アンケートの結果

〔設問 8〕 不安事項 (記述)

※ 73事項の記述回答がありましたが、一つの回答内容の中に複数の不安事項が盛り込まれている場合は、別事項の件数としてカウントしております。



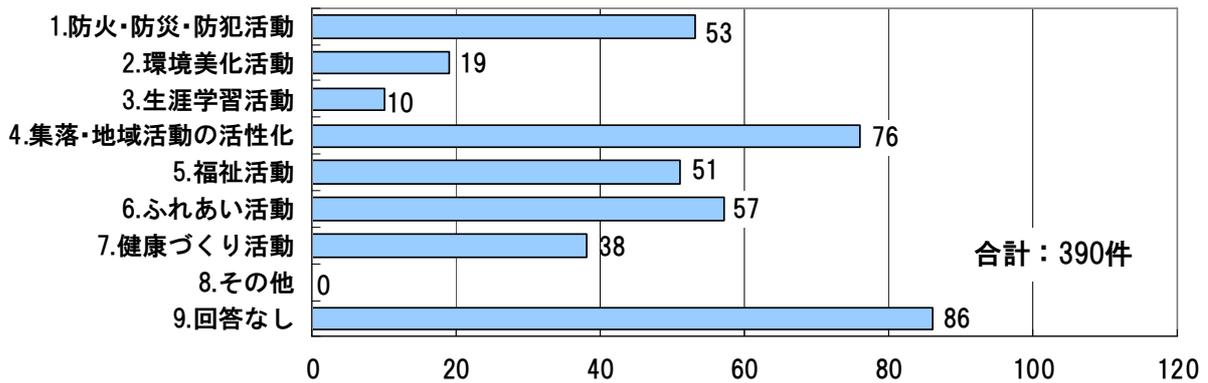
〔設問 9〕 将来希望事項 (複数回答可)



●地域住民アンケートの結果

[設問10] 期待する協議会活動（複数回答可）

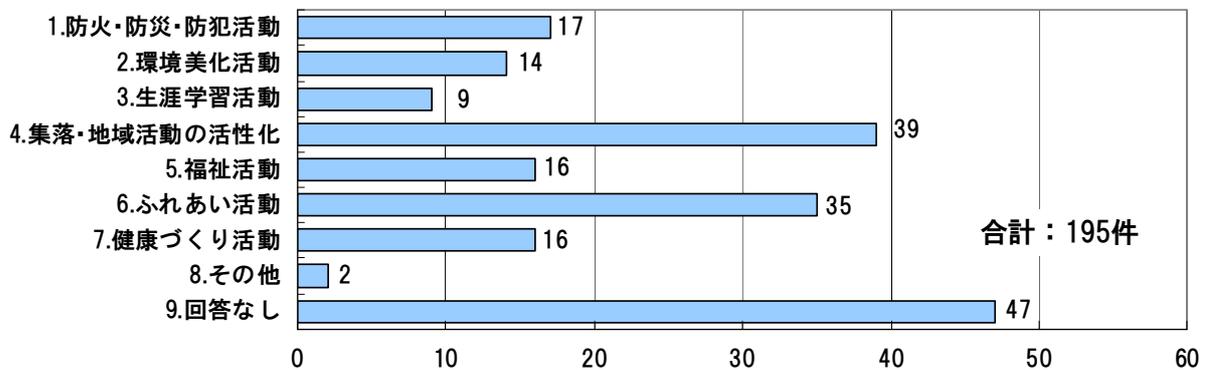
(件)



”回答なし”を除き、住民同志の交流としての、「集落・地域活動の活性化」76件に次ぎ「ふれあい活動」57件がそれぞれ、19.5%・14.6%と上位を占めている。

[設問11] 関わりたい協議会活動

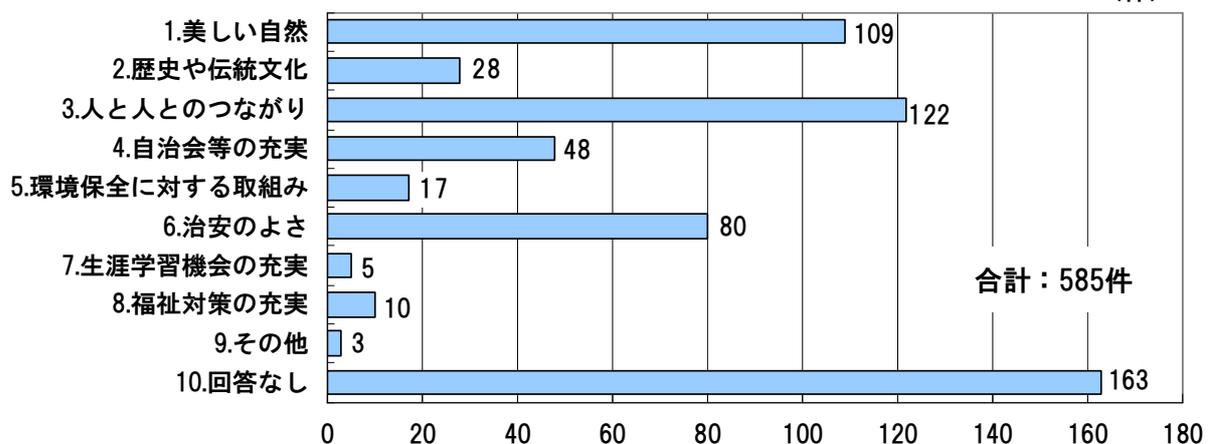
(件)



[設問10（期待する協議会活動）]と同様に、交流活動としての「集落・地域活動の活性化」39件（20.0%）と「ふれあい活動」35件（17.9%）が上位を占めている。

[設問12] 海内地域が自慢できるもの

(件)



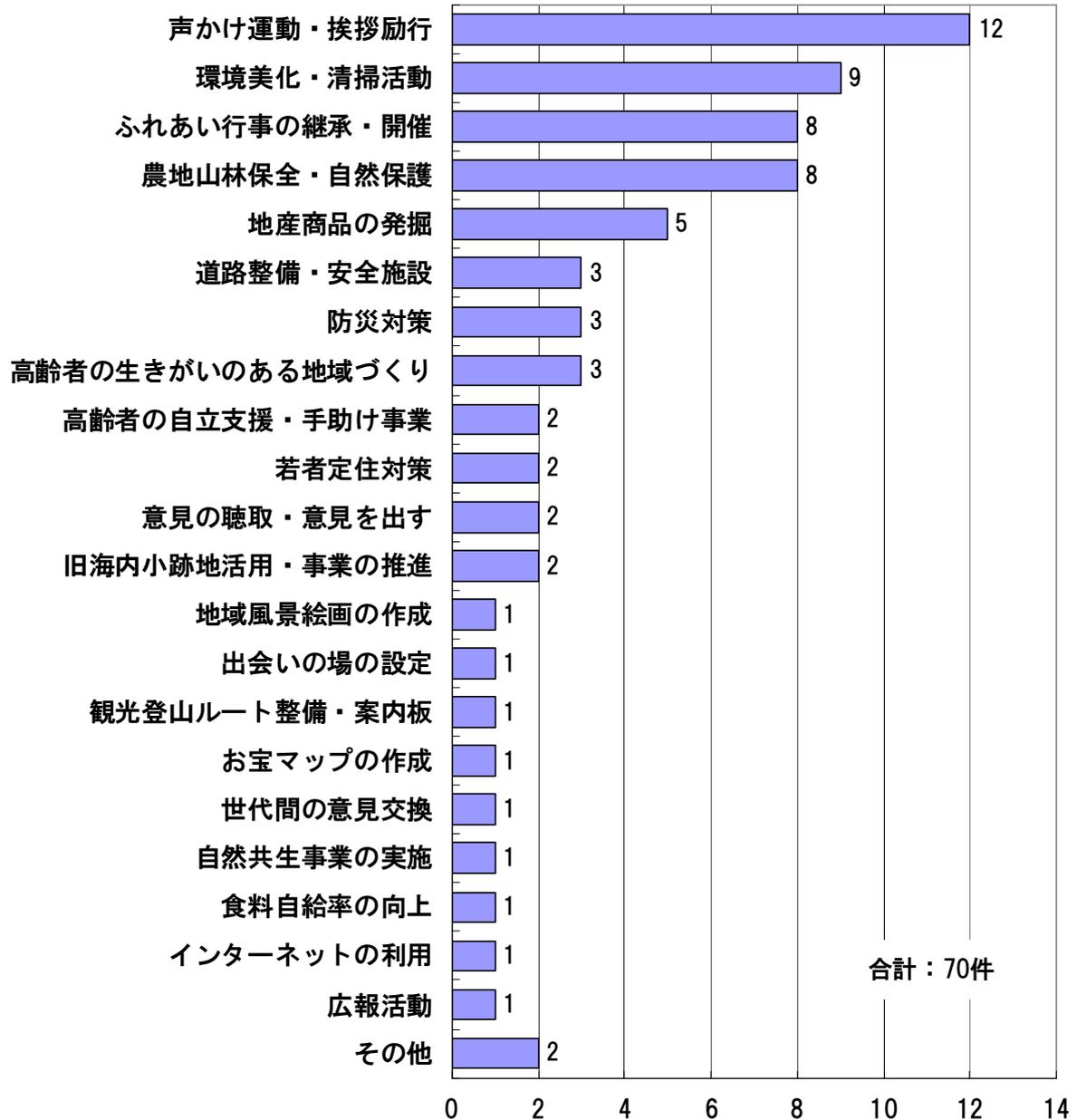
地域自慢としての”回答なし”が163件（27.9%）であるが、自慢として上位を占めているのが「人と人とのつながり」の122件（21.5%）と、次いで「美しい自然」の109件（18.6%）となっております。

●地域住民アンケートの結果

[設問13] 将来のためになすべき事項 (記述)

※ 44事項の記述回答がありましたが、一つの回答内容の中に複数の不安事項が盛り込まれている場合は、別事項の件数としてカウントをしております。

(件)



「声かけ運動・挨拶励行」の回答事例

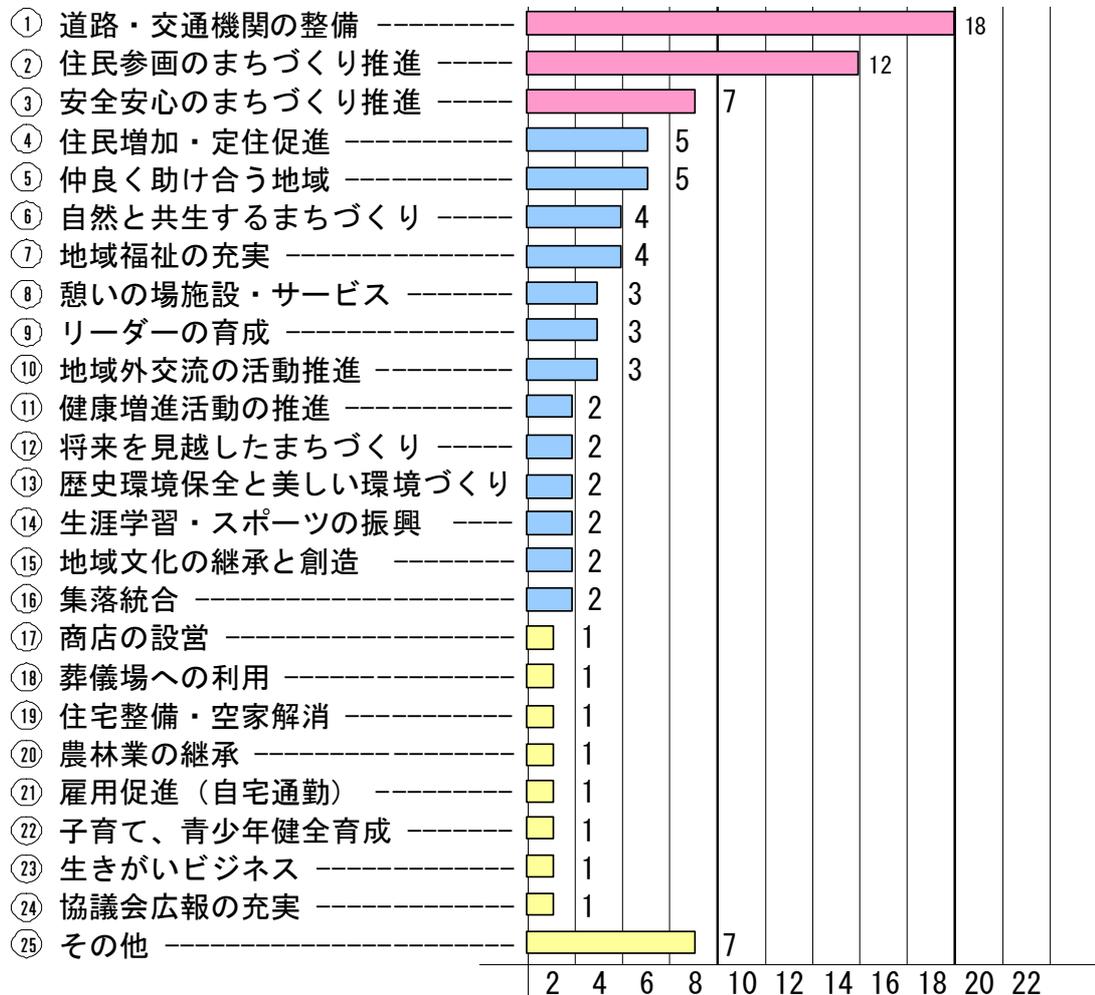
- ・ 独居老人家庭が増えていく中、各集落単位、声を掛け合う必要があると思う。
 - ・ 一人暮らしが増えてくると思うので声かけが必要だと思います。
 - ・ 高齢者（一人、二人のみ世帯）間のふれあい行事と安否確認及び悩み相談。
 - ・ 一声かけ運動で年に何回とか決めず、一声かけてお茶でも飲みながら、話をしたりできればいいですね。
 - ・ 地域全体の活性化、地域の方一人ひとりが声を出し合って生き生きした明るい生活が送れる工夫が必要。（オアシス運動等）
- （他、7件あり）

●地域住民アンケートの結果

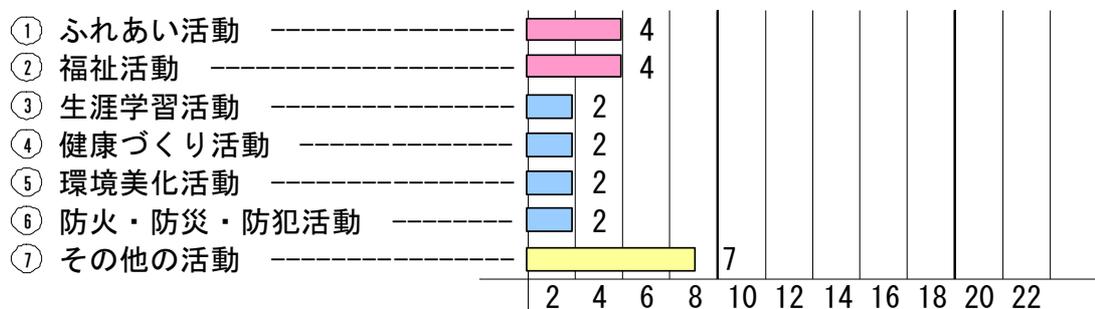
〔設問14〕 その他意見・希望等 (記述)

これまでの、設問に関連し付け加えたい事、又設問以外でも意見があれば、自由にコメントして頂きましたが、長文の中から言葉のキーワードや主旨を確認しながら内容別に事項をまとめて集計した結果です。

1. 将来希望する具体的な事項 (回答総件数：91件)



2. 関わりたい協議会活動 (回答総件数：23件)

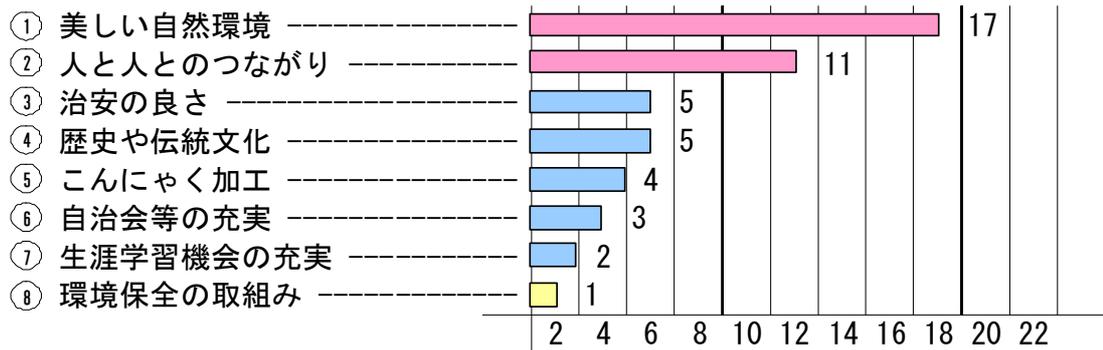


《その他の活動》の回答事例

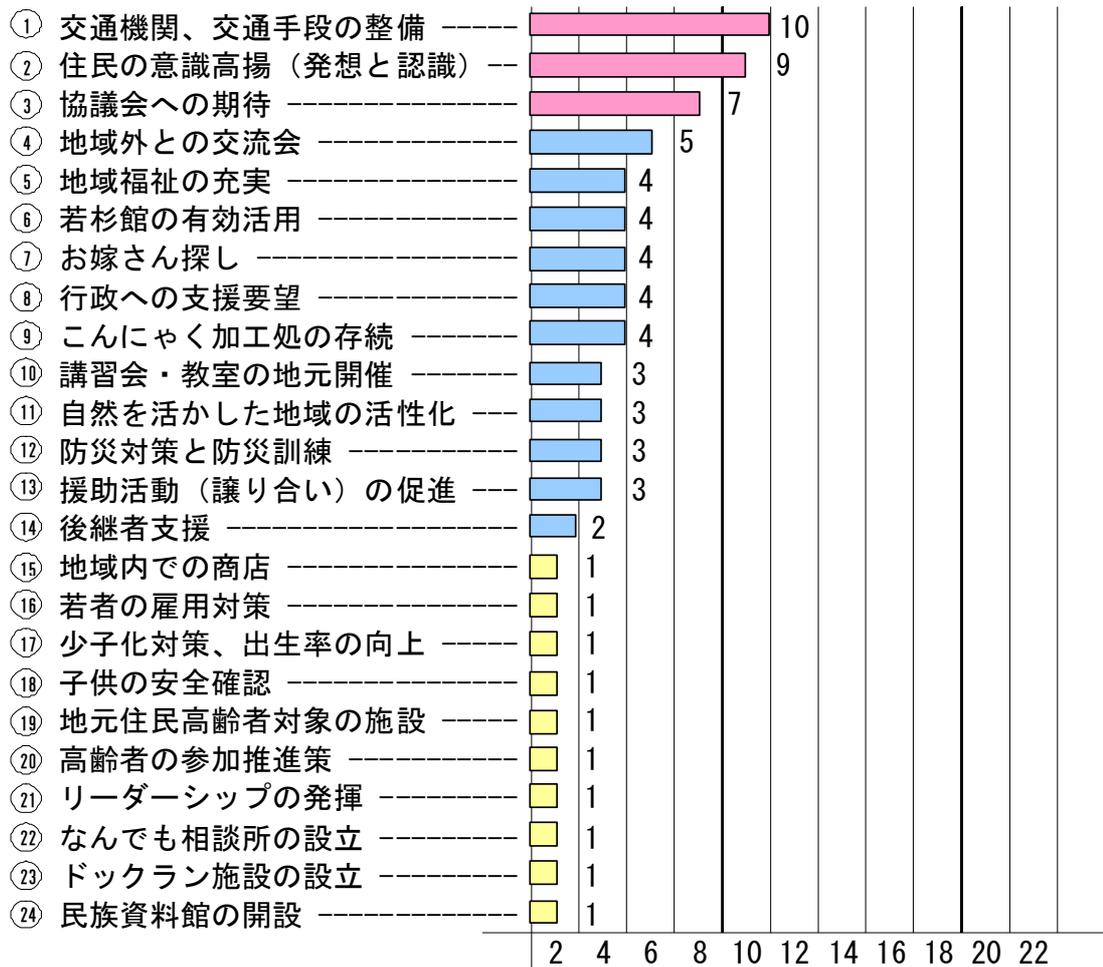
- ・農業に携わりたい。(2件)
- ・今の地域活動にできるだけ参加していきたい。(3件)
- ・住民参加が出来る程度のものなら。(2件)

●地域住民アンケートの結果

3. 海内地域の自慢（回答総件数：48件）



4. みんなのお願い（回答総件数：75件）



《上位項目の声》

- 交通機関、交通手段の整備
 - ・どこへ行くにも自動車以外乗ってでるものがない。
- 住民の意識高揚（発想と認識）
 - ・役員だけでなく、全員の意識が高揚しないと恒久的な地域づくりはできないと思う。
- 協議会への期待
 - ・住民の意見を取りまとめ、それを周知し共通意識を持つことで良い対策ができると思う。地域のために頑張ってください。

●住民アンケートの内容

問7. あなたは、海内地域の現状について、どのように感じていますか。次の1～16の各項目について、満足度でお答えください。それぞれの項目について、○を1つつけてください。

	満 足	ほ ぼ 満 足	言 え な い	や や 不 満	不 満
1. 地域外との行き来が便利な幹線道路	5	4	3	2	1
2. 日常生活に利用する身近な生活道路網の整備	5	4	3	2	1
3. 情報通信基盤の充実(インターネット・携帯電話などの利用)	5	4	3	2	1
4. 広場やレクリエーション施設など身近な憩いの場の充実	5	4	3	2	1
5. 公民館、集会場等身近なコミュニティ(地域社会)施設の充実	5	4	3	2	1
6. 防災・防犯、交通安全、消防・救急体制の充実	5	4	3	2	1
7. 青少年の健全育成	5	4	3	2	1
8. 生涯学習環境の整備充実(情報の提供、学習機会の充実等)	5	4	3	2	1
9. スポーツ施設など健康づくりの環境整備の充実	5	4	3	2	1
10. 地域の特色ある歴史資源の保護・保存と活用	5	4	3	2	1
11. 高齢者生きがい対策の推進	5	4	3	2	1
12. 農林業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など)	5	4	3	2	1
13. 地場産業と特産物の振興	5	4	3	2	1
14. 人権教育や男女共同参画社会づくりの推進	5	4	3	2	1
15. 行事やイベントなどを通じた住民の交流機会の充実	5	4	3	2	1
16. 環境保全・景観整備など、住民参加によるまちづくりの推進	5	4	3	2	1

問8. あなたは、現在、不安に思っていることがありますか。具体的にご記入ください。
(自分の健康のこと、将来のこと、ゴミ問題、防災・防犯対策 など何でも。)

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

問9. 海内地域の将来がどうなってほしいと思いますか。次の中から3つ選んで○をつけてください。

1. 地域ぐるみで支えあう地域福祉の充実	6. 生涯学習・生涯スポーツ活動の振興
2. 自然と共生する環境づくり	7. 地域文化の継承と創造
3. 歴史環境の保全と美しい景観づくり	8. 住民参画のまちづくりの推進
4. 地域の幹線道路網の整備	9. 健康増進のための活動の推進
5. 災害に強いまちづくりの増進	
※ 具体的にご記入ください。(夢でもかまいません。)	
<hr/> <hr/> <hr/>	

●住民アンケートの内容

問10. 海内地域では、人々がふれあい輝く自立と協働のまちづくりのために、海内地域づくり協議会が設置されましたが、その協議会の活動に対して、あなたは何を期待しますか。
次の中から2つ選んで○をつけてください。

1. 防火・防災・防犯活動	4. 集落・地域活動の活性化	7. 健康づくり活動
2. 環境美化活動	5. 福祉活動	8. その他
3. 生涯学習活動	6. ふれあい活動	()

※ 具体的にご記入ください。

問11. あなたは、海内地域づくり協議会の中で、どのような分野に関わっていきたいと思いますか。
次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. 防火・防災・防犯活動	4. 集落・地域活動の活性化	7. 健康づくり活動
2. 環境美化活動	5. 福祉活動	8. その他
3. 生涯学習活動	6. ふれあい活動	()

※ 具体的にご記入ください。

問12. 海内地域が自慢できるものは何だと思えますか。次の中から3つ選んで○をつけてください。

1. 美しい自然	5. 環境保全に対する取組み	9. その他
2. 歴史や伝統文化	6. 治安のよさ	()
3. 人と人とのつながり	7. 生涯学習機会の充実	
4. 自治会等の充実	8. 福祉対策の充実	

※ 具体的にご記入ください。

■災害時要援護者等数

H22. 8. 1現在

集 落 名	組	一人暮らし		高 齢 者 世 帯	要 援 護 者	子 ども	世 帯 人 員 数
		高 齢 者	そ の 他				
海 内	1	1		3		4	26
	2	2		1	2	1	19
	3	1		1	2	6	30
	4	1	1	1	1	1	18
	計	5	1	6	5	12	93
桑 野	1	1	1	1	2	5	27
	2	2		3	2	9	45
	3	1	1	1	2	2	19
	4	1	1	3		3	40
	計	5	3	8	6	19	131
海内地域合計		10	4	14	11	31	224

■海内地域まちづくり計画策定委員会の経過

NO1

回	開催日	主 題
1	H20.9.23	計画作りのポイント・視点について 策定の視点等について説明
2	H20.10.10	『地域の課題(自慢)』と『こんなになるといいな』
3	H20.10.14	
4	H20.11.14	
5	H20.11.28	
6	H20.12.12	
7	H21.1.16	
8	H21.1.30	海内地域まちづくり計画についての全体検討
9	H21.2.13	(1) 計画の内容
10	H21.2.27	(2) 計画づくりの進め方
11	H21.3.13	(3) グループ分け・分担項目
12	H21.3.27	海内地域まちづくり計画についての全体検討 (1) 平成20年度の計画策定委員会の反省 (2) 平成21年度の計画策定委員会の進め方について
13	H21.4.24	海内地域まちづくり計画についての全体検討 (1) 第1回から第12回策定委員会の経過報告と確認について (2) 今後の計画策定委員会議の進め方等について
14	H21.5.28	海内地域まちづくり計画についてのグループ検討
15	H21.6.11	(1) 各検討項目についてグループごとに検討
16	H21.6.25	(2) 検討内容の発表(共有)
視 察 研 修	H21.6.27	(有)常吉村営百貨店等の視察研修 (1) 常吉村営百貨店の経過及び現状、課題について (2) 京丹後市及び京都府等の支援について (3) 常吉村営百貨店の現地視察
17	H21.7.9	海内地域まちづくり計画についての全体検討 京丹後市常吉村営百貨店視察研修についての感想等
18	H21.7.23	海内地域まちづくり計画についてのグループ検討
19	H21.8.6	(1) 各検討項目についてグループごとに検討 (2) 検討内容の発表(共有)
平成21年台風第9号災害のため策定委員会を一時中断		
20	H21.12.17	意見交換会 (1) 策定委員会のまとめについて (2) まちづくり計画について
21	H22.1.14	海内地域まちづくり計画についてのグループ検討
22	H22.2.4	(1) 各検討項目についてグループごとに検討
23	H22.2.18	(2) 検討内容の発表(共有)
24	H22.3.4	海内地域まちづくり計画策定委員会に参加した感想等を発表
25	H22.3.18	海内地域まちづくり計画についての全体検討 将来の海内夢物語「こうなったらいいな 住みよい海内の郷」

回	開催日	主 題
26	H22.4.22	海内地域まちづくり計画についての全体検討 『転ばぬ先の杖をつくる－“おひとりさま”も安心して暮らせる海内の郷づくり』 第1段階:安全・安心に暮らす 第2段階:楽しく暮らす 第3段階:豊かに暮らす 第4段階:地域の自信や誇りづくり
27	H22.5.14	海内地域まちづくり計画についての全体検討 『転ばぬ先の杖をつくる－“おひとりさま”も安心して暮らせる海内の郷づくり』 今後の計画策定の進め方について
28	H22.6.11	海内地域まちづくり計画のグループ検討 第1グループ:【安全・安心に暮らす】 基本シート作成 第2グループ:【楽しく暮らす】 基本シート作成
29	H22.6.25	
30	H22.7.16	
31	H22.8.6	
32	H22.8.20	
33	H22.9.10	
34	H22.9.24	
35	H22.10.15	
36	H22.10.29	海内地域まちづくり計画の全体検討 (1) 基本方針シートの最終検討 (2) まちづくり計画書構成案の検討 (3) まちづくり計画書の担当割当て
37	H22.11.12	
38	H22.11.26	
39	H22.12.10	
40	H23.1.28	海内地域まちづくり計画の全体検討 (1) まちづくり計画書案の検討
41	H22.2.11	
42	H23.2.25	
43	H23.3.11	
44	H23.3.25	



策定委員会では、ワークショップなどでまとめた意見を発表することで情報の共有化を図ってきた



住民アンケート結果をまとめた模造紙を並べて検討する策定委員会の様子

■海内地域まちづくり計画策定委員名簿

(敬称略)

No.	氏 名	組 織 団 体	会議回数
1	井上 和夫	海内自治会長	第1回～第44回
2	吉本 昭	桑野自治会長	第1回～第44回
3	浜田 良典	地域づくりセンター長	第1回～第25回
4	浅田 義弘	桑野副自治会長	第1回～第44回
5	柴田 義美	桑野まちづくり活動推進員	第1回～第44回
6	堤 敏明	海内まちづくり活動推進員	第1回～第44回
7	井上 輝明	桑野まちづくり活動推進員	第1回～第44回
8	畑瀬 正巳	海内まちづくり活動推進員	第1回～第12回
9	梶本 健一	海内まちづくり活動推進員	第13回～第44回
10	井上 要子	海内婦人会	第1回～第12回
11	松本 時子	桑野婦人会	第1回～第12回
12	堤 好美	海内婦人会	第1回～第12回
13	西浦 みゆき	桑野婦人会	第1回～第12回
14	安東 美恵子	海内婦人会	第13回～第25回
15	浅田 淳子	桑野婦人会	第13回～第25回
16	井上 順子	海内婦人会	第13回～第25回
17	水本 美佐子	桑野婦人会	第13回～第25回
18	井上 由美子	海内婦人会	第26回～第44回
19	水本 礼子	桑野婦人会	第26回～第44回
20	紙本 須美子	海内婦人会	第26回～第44回
21	橋本 一枝	桑野婦人会	第26回～第44回
22	谷口 俊廣	役場企画防災課 海内地域担当	第1回～第44回
23	山田 純平	役場企画防災課海内地域副担当	第26回～第44回